

会員の皆様には、日頃から本会運営にご尽力、ご協力を賜わり厚くお礼を申し上げます。この度、ホームページに英語ページを開設致しましたので、ご案内いたします。

General Foundation

Meeting of the victims such as mobilization students in Hiroshima, Japan

Japanese



Memorial Tower to the Mobilized Students

"Testimony of the lamentation" written by mobilized students

You Can View a Digital Book Click



The Mobilized Students (動員学徒)

During World War II, more than three million students over twelve years of age were mobilized for labor services throughout the country. As a result, more than 10,000 students were killed, including some 7,000 killed by the atomic bomb. They gave up their youth and studied for the nation.

Memorial Tower to them (学徒慰霊塔)

This ferro-concrete tower is twelve meters high and gradually widens as it rises. The exterior surfaces of the five tiers are finished with Arita-yaki ceramic tiles. The sculpture depicts the Goddess of Peace accompanied by eight doves perched around the tower. On the center pole are lights offered to God in memory of the lives that were extinguished.

General Foundation—Meeting of the victims such as mobilization students in Hiroshima, Japan (一般財団法人 広島県動員学徒等犠牲者の会 日本国)

General Incorporated Foundation Hiroshima-ken Douingakutotou-giseishanokai  
〒732-0816, Hiroshima Minami-ku Hijyamahonmachi 12-2 / phone : 082-252-0316

Copyright © 一般財団法人広島県動員学徒等犠牲者の会 All rights reserved.



発行所  
一般財団法人  
広島県動員学徒等  
犠牲者の会  
事務局  
広島市南区比治山本町12-2  
広島県社会福祉会館内  
〒732-0816 電話 (082) 252-0316  
郵便振替口座 広島0-8858番  
印刷所 大成印刷

被爆六十九周年  
記念号  
デジタルブック  
“衝突の証言”  
http://www.douingakuto.com/

お世話になる方々

広島県

健康福祉局長 笠松 淳也  
社会援護課長 日下 仁彦  
社会援護課援護恩給グループ  
主査 関野 弘美  
主任専門員 村川ちどり  
主任専門員 藤本 洋三  
専門員 船石 幸恵

電話 082-513-3036

広島市

健康福祉局長 糸山 隆  
健康福祉局次長 久保 雅之  
健康福祉局保険年金課長 森川 伸江  
健康福祉局保険年金課 荒木 清希  
福祉医療担当課長 井上 和義  
健康福祉局保険年金課課長補佐 (事) 管理係長 福永 玲子  
健康福祉局原爆被害対策部調査課 事務指導員 (追悼式補助金担当) 山本 勝彦

電話 082-504-2159

電話 082-504-2191

# ごあいさつ



広島県健康福祉局  
社会援護課長

## 日下 仁彦

向夏の候、皆様には益々ご清祥のことと、お喜び申し上げます。



広島市健康福祉局保険年金課  
福祉医療担当課長

## 荒木 清希

広島県動員学徒等犠牲者の会の皆様方におかれましては、日頃から本市行政の推進に格別の御理解と御協力を賜り、厚くお礼を申し上げます。

この度、健康福祉局年金課福祉医療担当課長に就任し、援護行政に携

この度、健康福祉局社会援護課長に就任し、援護行政に携わることになりました。よろしくお願いいたします。

多くの動員学徒等の方々が犠牲となられました、先の大戦から六十九年目の夏が目前に迫っています。

当時子供さんを亡くされた父母の方も高齢化が進み、他界された方も少なくないことでしょう。

この四月、新任御挨拶で貴会を訪問させていただいた際、井上理事長から御霊の追悼を次世代へどう残して行くか、二度と戦争を起こさないために戦争の悲惨さをどう伝えて行くかということを考え、活動として

わることとなりました。よろしくお願い申し上げます。

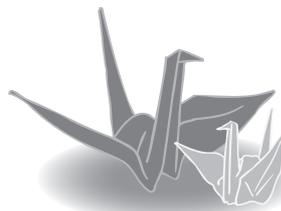
会員の皆様方におかれましては、先の大戦において負傷されたり、最愛の御家族を亡くされ、長い間、肉体的精神的苦痛に耐えてこられたものと拝察申し上げます。

戦後、半世紀以上が経過して戦争の記憶が風化していく中、今日のわが国の平和と繁栄の礎には、数多くの動員学徒や女子挺身隊員の方々の尊い犠牲があることを、私たちは決して忘れてはなりません。

本市は、平和首長会議を構成する六千を超える加盟都市とともに、国連や志を同じくするNGOなどと連

実践されていることをお伺いし、感銘を受けました。

広島県も、援護関係施策のより一層の充実に向け、皆様とともに全力を傾けてまいる所存でございます。終わりに、貴会の益々のご発展と皆様のご健勝を祈念し、ごあいさつとさせていただきます。



携して、二〇二〇年までの核兵器廃絶をめざし、核兵器禁止条約の早期実現に全力で取り組むとともに、皆様が健康でゆとりと生きがいのある生活を送っていただけるよう一層努力してまいります。

終わりに、貴会の益々の御発展と、皆様の御健勝・御多幸を祈念いたします。御挨拶とさせていただきます。



### 広島 原爆死没者記帳始まる

1945年8月6日、被爆によって広島市は焼土と化した。70年近くたった今も、多くの人が苦しんでいます。

広島市は11日、原爆死没者名簿の記帳を始めました。昨年8月6日以降に亡くなった死亡が確認されたりした広島原爆の被爆者の名前を書き加え8月6日の平和記念式典で、原爆慰霊碑の石室に納められます。

市が新たに確認した死没者は2873人。ともに被爆者で元市職員の水島和子さん(七二)南区と中本信子さん(七一)南区が記帳を担当。

初日は中区地域福祉センターで作業。2人は手を合せた後、名前、死亡年月日、年令を筆で丁寧に記されます。

14年連続で担当する中本さんは「知人や平和活動をして来た人も亡くなり寂しい。核廃絶と平和への思いを込めて書く」と話されました。二人は今後、自宅などで記帳を続けられます。

昨年は8月5日までに記帳された被爆者は28万6818人で、103冊に上り、「氏名不詳者多数」とだけ書かれた一冊と、長崎で被爆し遺族が記載を希望した9人の名簿も一冊あります。

記帳の申請は式典前日の8月5日午後5時まで受け付けられます。

市原爆被害対策部調査課  
TEL 082(504) 2191

平成25年度 事業実績報告書

- 1、広報活動の実施
  - (1) 会報「ともしび」の配付  
平成25年6月30日 会報第118号  
平成25年11月30日 会報第119号  
を会員に郵送
  - (2) 平成25年5月「動員学徒働哭の証言」をホームページ新規作成。  
平成25年9月から前記証言の英文翻訳を順次作成。
  - (3) 冊子「動員学徒働哭の証言」を増刷分を、関係機関及び関係者に配布した。
  - (4) 慰霊塔の清掃日等を利用して随時、参拝者に対して原爆、空襲動員学徒の顕彰等について説明
- 2、第56回原爆追悼式を挙行  
日 時 平成25年8月6日  
午前9時から
- 場 所 動員学徒慰霊塔前広場
- 3、全国戦没者追悼式に参列  
日 時 平成25年8月15日
- 場 所 日本武道館  
参列者 参列者なし
- 4、動員学徒慰霊塔の清掃・供花・英霊供養（於・西向寺）  
平成25年 4月5日、4月19日  
5月7日、5月21日、6月6日  
6月20日、7月5日、7月19日  
8月5日、8月20日、9月6日  
9月20日、10月8日、10月21日
- 5、役員会等の開催  
平成25年5月10日 ホームページ  
検討会  
平成25年5月14日 監事会（会計  
監査）  
5月21日 理事・定時評議員会  
（平成24年度収支決算）  
7月5日 第57回原爆追悼式開  
催要領の打合せ会（慰霊塔管理  
部会）9月6日 臨時評議員会・  
前期反省会  
平成25年11月14日 名古屋大附属  
中との交流会  
平成26年2月6日 臨時評議員会  
（役員等の選任）  
平成26年3月25日  
理事会臨時評議員会（平成26年  
度収支予算）  
平成25年5月28・31日  
6月10・20日、9月27日  
10月21・22・25・29日  
11月5・12・15・19・21日  
（合計14日）  
（広報部会）  
6、福祉援護事業  
平成25年8月6日  
遺族等援護相談会  
7、その他  
平成26年3月13日  
広島県公益法人監査

平成26年度事業計画書

- 1、広報活動を実施する
  - (1) 平成26年8月6日の第58回原爆追悼式の案内を7月7日会員に郵送配付する。
  - (2) 会報「ともしび」を配付する。  
平成26年6月30日・11月30日付け会報「ともしび」第120・121号を各1200部印刷し、会員に郵送配付する。
  - (3) 新規作成したホームページを運用する。
  - (4) 増刷した「動員学徒働哭の証言」を関係者に贈呈する。
  - (5) 慰霊塔の清掃日等を利用して随時、参拝者に対して、原爆、空襲、動員学徒等の説明を行う。
- 2、第58回原爆追悼式を挙行する。  
日 時 平成26年8月6日  
午前9時から
- 場 所 動員学徒慰霊塔前広場
- 3、全国戦没者追悼式に参加  
日 時 平成26年8月15日
- 場 所 日本武道館  
参列者 未定
- 4、動員学徒慰霊塔の清掃・供花・英霊供養  
別紙「行事予定表」のとおり
- 5、役員会等の開催  
平成26年5月7日 監事会開催  
5月23日 理事・定時評議員会開催、平成25年度収支決算を審議  
平成27年3月25日 理事・臨時評議員会開催、平成27年度収支予算を審議
- 6、福祉援護事業
  - (1) 遺族等援護相談の開催（平成26年8月6日）
  - (2) 福祉援護関係の勉強会
  - 7、会員研修一泊旅行 会費は自己負担（行き先は未定）
  - 8、その他  
供養会  
平成26年 4月7日、5月23日  
6月6日、7月7日、8月5日  
9月5日、10月6日、11月10日  
12月5日  
平成27年 1月15日、2月6日  
3月6日 西向寺において実施する。

**原爆追悼式のご案内**

巡り来る8月6日が近づいて参りました。いかがお過ごしでございますか。

本年も第58回原爆追悼式を午前9時から、本会慰霊碑前に執り行います。

お暑い時で大変とは存じますが、お体にお気をつけ下さいますようお願い申し上げます。

案内申し上げます。



## 平成26年度 一般会計収支予算書

(平成26年4月1日から平成27年3月31日まで)

(単位：円)

科 目	実施事業等会計「継1」			その他の 会計	法人会計	合計	備考
	慰霊顕彰等費	共通	小計				
1 経常収益・経常費用の部							
1 経常増減の部							
(1) 経常収益							
基本財産運用益							
基本財産受取利息					0	0	
事業収益							
追悼式典事業収益	500,000		500,000			500,000	追悼式典事業収益
受取補助金等							
受取地方公共団体補助金	530,000		530,000			530,000	広島県及び広島市補助金
受取寄付金							
受取寄付金					50,000	50,000	一般寄付
雑収益							
受取利息					50,000	50,000	広島信用金庫定期預金及び普通預金利息
雑収益					700,000	700,000	賽銭収入
経常収益計	1,030,000		1,030,000	0	800,000	1,830,000	
(2) 経常費用							
事業費							
会議費	20,000		20,000			20,000	反省会等
旅費交通費	320,000		320,000			320,000	式典費分償・広報部会・供養会
通信運搬費	200,000		200,000			200,000	会報発送費
消耗品費	250,000		250,000			250,000	生花スタンドほか
修繕費	1,000		1,000			1,000	慰霊塔修繕等
印刷製本費	250,000		250,000			250,000	会報(2回)印刷等
光熱水料費	35,000		35,000			35,000	水道料・電気料
保険料	26,000		26,000			26,000	傷害保険
委託費	400,000		400,000			400,000	会場設営一式
諸謝金	800,000		800,000			800,000	報償費
支払負担金	500,000		500,000			500,000	ホームページの運用
雑費	300,000		300,000			300,000	撤供品・御布施
事業費計	3,102,000		3,102,000	0	0	3,102,000	
管理費							塔管理・一般運営
会議費					180,000	180,000	役員会・部会等
旅費交通費					200,000	200,000	役員会・部会等
通信運搬費					50,000	50,000	電話料・郵便料
消耗品費					70,000	70,000	事務用品・供花代等
印刷製本費					30,000	30,000	資料印刷等
光熱水料費					5,000	5,000	電気料・水道料
賃借料					10,000	10,000	会議室借り上げ
諸謝金					160,000	160,000	報償費
公租公課					75,000	75,000	県民税・市民税
支払負担金					650,000	650,000	県社協へ家賃・ホームページの運用
雑費					100,000	100,000	お布施・玉串料等
管理費計					1,530,000	1,530,000	
経常費用計	3,102,000	0	3,102,000	0	1,530,000	4,632,000	
2 経常外増減の部							
(1) 経常外収益	0	0	0	0	0	0	
(2) 経常外費用	0	0	0	0	0	0	



# 警報なき空

井野口 靖弘

## 動員学徒「慟哭の証言」より抜粋

建物疎開の勤労奉仕は何日も続いており皆んなへとへとに疲れている毎日であった。作業する現場は平野町、富士見町、宝町方面であり木造の家を解体し、敵の飛行機による空襲で、火災が発生した場合に、延焼を防ぐ為の火の道を断つ、遮断線に当たった民家を間引き壊す作業である。誰がどこの家を壊す線を引き決定したものか、不平も言わされずに立ち退いたものだと、今頃に考えれば感心する。

仕事の内容は家の柱を鋸で切りロープで引き倒す、砂埃がもうもうと立ちのぼり全身が汗と埃で、夏の暑い陽射しの中で、重い材木はかつき寄せて瓦礫はスコップ等で運ぶので、身体が倒れないのが不思議なようであった。服を着たまま川に飛び込みたいような日が続いていた。これ等も戦争に勝つまでは…と皆んな気が張っていたから頑張れた事と思われる。

民家の建物解体作業で近代的な文化を感じたのは、写真館の跡を片付けていた時に、スライド用の三十五ミリカラーの硝子板で、映画館にて広告に使用する物と思われる商品や

店の宣伝用の綺麗な写真が瓦礫の中に捨ててあったので、五枚程拾って帰ったが当時としては珍しい品物であった。

時々学校の横の電車通りを軍隊の自動車とすぐ判るスマートな外国車が宇品港に向かって走り、ボディの前横に三角旗をひるがえして通って、旗の色が、黄色が将官か左官であって、青色が尉官であったと記憶しているが、黄色の時は大将であろうか少将であったのであろうかと友達と想像話をしたものである。

広島駅から学校迄の通学路は、猿猴橋を渡り、的場町から鶴見橋の横を通り学校まで歩いて、江波の学校に較べると距離が半分以下なので、通学は近くなったが木造校舎で古くて暗い教室には、がっかりした。

被爆する数日前に物理関係の実験薬品を運動場の北側で、三角点の隅に深い穴を掘り数人の先生が埋めていたので、非常処理をしているのだと感じた。現在ならば八月は夏休みの中であるが、当時は夏休みは無く、学徒動員の仕事開始は毎日八時からで、日曜日のみが休日であった。三学年以上は日本製鋼所へ学徒動員

で学校には殆ど出ないで毎日直接工場に行っていたが、一、二学年は広島市内の軍関係施設や民家の建物疎開に一般の町民と大人と共に作業する毎日であった。

原爆投下の前日に我が家では、母が「明日は広島市へ民家の建物疎開作業に、町内会から割り当てがあつて行かなければならない」と話が出たので、どういふものか私は盛んに「行きさんさんな」「どうしても行かなくてはならないのか行くのを止めんさい」と凄く反対して激しく言い争ったものである、自分が毎日つらい作業で仕事の内容を知っているのに、母をかばった言葉であったと後日になって気付いた。

汽車通学での悪い思い出は、海岸の見える側の窓は全部鎧戸を降ろして、外の景色を見てはいけなかった事と、トンネルにはいると煤煙がデッキからと窓越しに首の中へ降り込んで、白いシャツがよく汚れたものであった。

これまで広島は、不思議と空襲での攻撃は殆ど無く、数ヶ月前に国泰寺の空き地に爆弾が一個落とされて八メートルばかりの穴が掘られて、雨水が濁って溜まっているのを友達と見に行つた、草むらの空き地でよかつたと話しあつた。呉市は度々とB29やグラマン機による爆撃に遭い大きな被害をこうむっていた。

(次号に続く)

学徒動員の歌

あ、紅の血は燃ゆる

野村俊雄 作詞  
明本京静 作曲

昭和十九年 唄／酒井弘  
安西愛子

1 花もつぼみの若桜

五尺の生命ひっさげて

国の大事に殉ずるは

我ら学徒の面目ぞ

あ、紅の血は燃ゆる

2 後につづけと兄の声

今こそ筆をなげうちて

勝利ゆるがぬ生涯に

勇み立ちたる強者ぞ

あ、紅の血は燃ゆる

3 君は鋏とれ我は鋤

戦う道に二つなし

国の使命をとぐるこそ

我ら学徒の本分ぞ

あ、紅の血は燃ゆる

4 何をすさぶか小夜嵐

神州男児ここにあり

決意一度火となりて

護る国土は鉄壁ぞ

あ、紅の血は燃ゆる

# 平成26年度 行事予定表

平成26年4月1日現在

一般財団法人 広島県動員学徒等犠牲者の会

年	月	日	曜	備考	月	日	曜	備考
平成26年	4	7	月		4	21	月	
	5	23	金	定時評議員会・理事会(門信徒会館)(平成25年度収支決算・役員を選任等)	5	7	水	監事会(県社会福祉会館)
	6	6	金		6	20	金	[会報「ともしび」宛名貼・シール貼(~7月4日の間)]
	7	7	月	8月6日追悼式準備 8月6日追悼式役務分担の打ち合わせ会 会報「ともしび」封筒入れ(西向寺本堂)	7	23	水	
	8	5	火	供養会	8	22	金	
	6	水	第58回原爆死没者追悼式					
	9	5	金	8月6日追悼式反省会(西向寺本堂)	9	19	金	
	10	6	月		10	22	水	[会報「ともしび」宛名貼・シール貼(~11月7日の間)]
	11	10	月		/	/	/	
	12	5	金	会報「ともしび」封筒入れ(西向寺本堂)	12	22	月	
平成27年	1	15	木		/	/	/	
	2	6	金		/	/	/	
	3	6	金		3	25	水	理事会・臨時評議員会(門信徒会館)(平成27年度収支予算)

(注)

- 慰霊塔付近の清掃は、午前9時30分から(雨天も行う)です。
- 10月・11月・12月・1月・2月・3月は、午前10時からです。
- 清掃日=左欄は、清掃後「西向寺」で読経。右欄は、行事のないときは解散。なお、「西向寺」の都合によっては、変更する場合があります。



今年も来ました。蛙さん達がー。毎年思うことだが、田んぼに水が入るとトタンに合唱が始まり、大合唱となる。蛙さんはどこかにかくれていたのだろうか。新しくこの地の住人達にとってはうるさいらしい。我が家の回りの六軒の田んぼが残り、昔ながらの日本の姿を見せて貰っている。作る人達は大変だが、出来ることならずっとお米を作って頂きたい。

(寺前)

# 平成26年度旧軍人・軍属、遺族等援護相談会日程表

月日/時間	場 所
9月1日(月) 10:00~15:00	尾道市役所公会堂別館 (2階22号室) 尾道市久保一丁目15-1 TEL (0848) 25-7111
5日(金) 10:00~15:00	広島県呉庁舎第2庁舎 (2階201会議室) 呉市西中央一丁目3-25 TEL (0823) 22-5400
12日(金) 10:00~15:00	広島県東広島庁舎 (2階栄養指導室) 東広島市西条昭和町13-10 TEL (082) 422-6911
17日(水) 10:00~15:00	広島県廿日市庁舎第2庁舎 (1階101、102会議室) 廿日市市桜尾二丁目2-68 TEL (0829) 32-1181
19日(金) 10:00~15:00	広島県福山庁舎第3庁舎 (8階381、382会議室) 福山市三吉町一丁目1-1 TEL (084) 921-1311
26日(金) 10:00~15:00	広島県三次庁舎第3庁舎 (1階101会議室) 三次市十日市東四丁目6-1 TEL (0824) 63-5181

※午前12時から午後1時までは、相談を受けていません。(全会場共通)

◎社会援護課(広島県庁本館5階) 援護恩給グループでは、月曜日から金曜日(昼休憩(午前12時~午後1時)・祝日を除く。)まで、常時ご相談を承っています。

お問い合わせ先

広島県健康福祉局 社会援護課  
(〒730-8511 広島市中区基町10-52)  
電話 (082) 513-3036

あ  
と  
が  
き

10日付の天風録を読んで言葉が失った。私は被爆者ではありませんが、家族全員被爆者の家に嫁し、一人娘を原爆で失った夫の両親と40、48年共に暮し看取った。特に建物疎開の作業に15才で駆り出され、行方不明で帰らぬ娘への深い思いは涙、涙で聞くのが常でした。合掌

(平野)